

『料理がたのしくなる料理』



ひとつずつの料理は簡単で、組み合わせるといろいろなアレンジができるところが好きです。

こねないパンの作り方に興味を持ちました！

(読者ハガキより)

『私の家庭菓子』



写真やスタイリングもステキで参考になります。レモンサワークリームケーキ、ガトータタンなど作りたいものがいっぱい！

(読者ハガキより)

『毎日食べる。家で、ひとりで。』



料理本で感動したのは久しぶりで、何度も何度も読み返しました。献立のヒントいっぱいありがとうございます。

(読者ハガキより)

『おかずとご飯の本』



高山さんの本で、作ること、食べることが好きになりました。

ビニールカバーがついているのが便利！

(読者ハガキより)

『朝食の本』



亜衣さんの本からはいつも本物の豊かさを感じることができます。

最後に「トースト」があるのがニクイです。

(読者ハガキより)

『ぱらぱら きせかえ べんとう』



ありそうでなかった！リング綴じで使いやすいお弁当レシピ本。ぱらぱらめくって好きな組合せに。

第 54 回「造本装幀コンクール」にて会長賞受賞。

(担当編集者より)

『SPICE CAFE のスパイス料理』



全面カレー推しではなく、スパイス料理を幅広く扱っているところがスパイス愛を感じました。

どれも本格的な味で、自分で作るのが嬉しい。

(読者ハガキより)

『野菜たっぷり すり鉢料理』



タイトルが素敵で、写真もよく、「すり鉢」というテーマに興味をそそられました。作ってみたらとてもおいしく、ベジ料理なので気に入っています。

全部作ってみます。

(読者ハガキより)

『聡明な女は料理がうまい』



自分が今する仕事にもっと愛を込めようと思いました。

私の人生の支えであり、目標の本です。

(読者ハガキより)

『暦レシピ』



重版出来！「おまけレシピ」は、高山なおみさんのふだん着のメニュー。季節と気分が満載の、頑張らずにおいしい料理をお楽しみください。

(担当編集者)

『早川ユミのちくちく服づくり』



服づくりは難しい&専門知識がたくさん必要……とっていました。が、もっと肩の力を抜いてやってみればいいんだなと気付かされました！

(読者ハガキより)

『食べられる庭図鑑』



この本をきっかけにハーブ栽培を始めました。ベランダに緑が増えて、しかも食べられる！という一石二鳥で、体も心も癒されました。

(読者ハガキより)

『ゼロ・ウェイスト・ホーム』



本の厚さにびっくりしましたが、内容がとても充実していて、読んだその日から実践できました。日本でもっとゼロウェイストが広まると嬉しいです。

(読者ハガキより)

『サステイナブルに暮らしたい』



各章にある「小さなアクション」がとてもいい。自分だったら何をしよう？と考えたり、これまでと視点が少し変わって、暮らしに風が通った感じ！

(読者ハガキより)

『こころのヨーガ』



絵本のように気軽に読める。まるで心の処方箋のようです。ヨーガへの誘いとして決定的な出会いになりました。

(読者ハガキより)

『料理発見』



気になった食材や料理は自ら試さずにいられない、好奇心と情熱にあふれた食エッセイの復刊。日常を豊かにする料理の楽しさに出会えます。

(担当編集者)

『いのちを呼びさますもの』



久しぶりに丁寧な装丁の本に逢えて感動。文章を味わったり、自分のことを振り返ったりと、素晴らしい読書時間でした。

(読者ハガキより)

『いのちはのちのいのちへ』



「場」と「個」が共存するための考えが書かれていて、とても心に響いた。不透明な世の中で、自分なりの軸になる考え方をこの本からもらった。

(読者ハガキより)

『この星で生きる理由』



心に響く文章、心に響く感性、何度も読みかえています。本書は私の人生の羅針盤にさせていただきます。

(読者ハガキより)

『江戸の暮らしと落語ことはじめ』



江戸を知ったら落語はもっとおもしろい！読んでから聴いても、聴いてから読んでも楽しめる、落語好きにも落語初心者にもおすすめの一冊です。

(担当編集者より)

『街と山のあいだ』



人との関わりのなかで感じたこと、笑みがこぼれてしまうエピソード、クッと気が引きしまるお話、どれも好きです。

(読者ハガキより)

『旅の断片』



コロナ禍の今、この本を手にとって本当によかった。旅の「非日常感」と毎日確実に存在している「生活感」が、いい感じに描写されていて好きです。

(読者ハガキより)

『途上の旅』



旅をしたときにうまく言葉にできなかった気持ちを、若菜さんが言葉にしてくれている気がして、読んでいて心が洗われる思いでした。

(読者ハガキより)

『もしぼくが本だったら』



タイトルにひかれました。すごく共感できて、イラストもシンプルでわかりやすくおもしろかったです。親子での共作というのがさらにいい。

(読者ハガキより)

『オーケストラ』



店頭でひとめぼれ！おしゃれな色合い、1人1人の豊かな表情、旅気分になれる各国の楽しい様子。この本を見てリフレッシュ、元気をもらっています。

(読者ハガキより)

『ナマケモノのいる森で』



360度広がる森の中で、発見するよろこびや驚き！ナマケモノがキーになる美しい森のしかけ絵本。SDGs テーマの絵本としても大人気です。

(担当編集者より)

『オセアノ号、海へ！』



ページをめくると広がる、5つの海とその海の中。美しいイラストレーションとしかけの素晴らしさで、プレゼントにオススメです！

(担当編集者より)

『ルー、山へ行く』



『ナマケモノのいる森で』『オセアノ号、海へ！』の作家の待望の最新作。テーマは“山”で、すべてのページにオオカミが隠れています(難易度高めです!)。

(担当編集者より)

『はるなつあきふゆのたからさがし』



子どもと一緒に「たからさがし」をしながらお散歩する時間は、私の大切な“たからもの”です。拾ったものが何か一緒に探せる絵本はとても嬉しい。

(読者ハガキより)

『いろってなあに?』



読み聞かせをして、日本語訳の素晴らしさを実感。「色」を五感で体感できるすばらしい作品です。今を生きるこどもたちに手渡したい絵本。

(読者ハガキより)